

令和 7 年第 2 回定例教育委員会

令和 7 年 2 月 1 9 日（水）午後 2 時 3 0 分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	黒川 淳 司 須田 壽美江 麓 美 絵 新館 忠 義 兼 子 弘 詔	説明員	教育部長 教育部次長 学校教育支援室長 総務課長 総務課主幹 学校教育課長 学校教育課参事 教育支援課長 給食センター長 対雁調理場長 生涯学習課長 生涯学習課主幹 スポーツ課長 郷土資料館長 郷土資料館参事 総務課総務係長	佐藤 学 新山 千穂 堂前 敦 山崎 浩克 鎌田 和仁 稲田 征己 五十川 明 水口 武 三浦 洋 井上 滋 田中 紀 星野 克 松井 正行 堀井 修 兼平 志 伊藤 麻美
			記録員 傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- (2) 令和 6 年度江別市青少年文化賞等の表彰について
- (3) 令和 6 年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について
- (4) 令和 7 年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について
- (5) 令和 6 年度江別市一般会計補正予算の査定について

2 審議事項

- (1) 令和 7 年議案第 3 号
江別市いじめ防止対策審議会委員の補欠委員の委嘱について
- (2) 令和 7 年議案第 4 号
教職員の事故に対する処分内申について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和 7 年第 3 回定例教育委員会の日程について

会 議 録	
黒川教育長	(開 会) ただいまから、令和 7 年第 2 回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は配付のとおりであります。開会前に確認いたしましたとおり、2 の審議事項 (2) 令和 7 年議案第 4 号 教職員の事故に対する処分内申については、秘密会で取り扱うこととし、議事の冒頭に行うことといたします。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を麓委員にお願いいたします。 それでは、議事に入ります。 <秘密会につき会議録省略>
黒川教育長	委員会を再開します。議事に入ります。 1 の報告事項 (1) 令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果についての報告を求めます。
稲田学校教育課長	稲田学校教育課長をお願いします。 報告事項 (1) 令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、ご説明いたします。 本件につきましては、令和 7 年 1 月に、スポーツ庁から江別市教育委員会に集計結果が送付され、その内容を分析した結果について、ご報告するものであります。 資料の 1 ページをご覧ください。 調査の概要についてですが、対象となる学年は小学校 5 年生と中学校 2 年生であり、調査内容は 8 種目の実技調査と、児童生徒及び学校に対する質問紙調査により構成され、スポーツ庁の実施要領に基づき、4 月から 7 月にかけて、各学校において実施しております。 次に、資料 3 ページをお開き願います。体格と肥満度に関する調査結果です。 一番上の四角で囲んだ部分には調査結果の概要を、中断の表は男子のデータを、下段の表は、女子のデータを記載しております。 データにつきましては、令和 6 年度の江別市の数値と、全国平均値 5 0. 0 に対する相対的な位置を示す T 得点を掲載したほか、全国・北海道の数値や、江別市の令和 5 年度の数値を参考として併記しております。 はじめに、小学校の体格についてですが、網掛けの数値 T 得点をご覧くださいますと、中段の表、男子は、身長が 5 1. 4 ポイント、体重が 5 1. 9 ポイントであり、ともに全国平均をやや上回っております。 一方、下段の表、女子は、身長が 5 0. 4 ポイント、体重が 5 0. 1 ポイントであり、全国平均とほぼ同程度でありました。 肥満痩身傾向につきましては、男子の肥満は全国平均を 3. 3 ポイント上回り、痩身傾向はほぼ同程度です。女子の肥満傾向は全国平均とほぼ同程度であり、痩身傾向は 1. 5 ポイント上回っています。 次に、4 ページをお開き願います。 中学校の体格についてですが、中段の表、男子は、身長が 5 1. 0 ポイント、体重が 5 0. 9 ポイントであり、ともに全国平均とほぼ同程度です。 一方、下段の表、女子は、身長は 5 1. 7 ポイントで全国平均をやや上回り、体重は 4 9. 5 ポイントで、全国平均とほぼ同程度でありました。 肥満痩身傾向については、男子の肥満は全国平均を 2. 8 ポイント上回り、痩身も 2. 0 ポイント上回っております。 一方、女子は肥満が全国平均を 1. 8 ポイント下回り、痩身は 1. 7 ポイント上回っています。 体格と肥満度に関しては、このような傾向から、小中学校ともに、今後も「日常の運動の奨励」や「食育の指導」などに継続して取り組んで行く必要があると考えております。 次に実技検査の結果について、5 ページから 8 ページにかけて記載しております。 5 ページをご覧ください。 一番上の四角で囲んだ部分には調査結果の概要を、その下の表は、各種目の成績とその点数を合計した体力合計点などのデータを、その下の縦の棒グラフは、各種目の T 得点を、その下の横の棒グラフは、良いほうから順に A から E まで 5 段階で評定した体力の総合評

価を表しています。

中段にあります、「実技調査T得点（男子）」のグラフをご覧ください。

50の横線のラインが全国平均、棒グラフの左側が北海道平均、右側が江別市平均となっています。

江別市の小学校男子の特徴としましては、8種目中6種目で全国平均以上となり、特に握力・反復横とび・立ち幅とび・ソフトボール投げは2ポイント以上上回りました。

一方で、20mシャトルランはほぼ同程度でしたが、50m走は昨年度に続き2.1ポイント下回っており、依然として「走力」に課題が見られる結果となりました。

次に6ページをお開き願います。

小学校女子では、男子と同様に握力や反復横とびは全国平均を2ポイント以上上回っておりますが、50m走など走力に課題が見られます。

体力合計点のT得点は50.9で、全国平均とほぼ同程度となりました。

次に7ページをご覧ください。

中学校男子では、体力合計点のT得点が49.7で全国平均とほぼ同程度となっており、2ポイント以上上回った種目はありませんでした。

一方、長座体前屈が47.4と全国平均を2ポイント以上下回っており、柔軟性に課題が見られます。

なお、中学校では、20mシャトルランの代わりに持久走を選択することが可能で、距離は男子が1500m、女子が1000mとなっております。

次に8ページをお開き願います。

中学校女子では、握力のT得点が52.2で全国平均を2ポイント以上上回りましたが、他に2ポイント以上差のある種目はありませんでした。

ただ昨年度と比較すると9種目中7種目で実測値においても数値が向上しております。

実技検査につきましては、Tポイントによるその年の全国平均との比較だけではなく、実測値の経年変化についても注視して行きたいと考えております。

9ページをお開き願います。

9ページから14ページは、児童生徒質問紙調査の結果です。

9ページから11ページが小学校、12ページから14ページが中学校に対する調査結果であり、それぞれの結果概要と男女別のグラフを記載しております。

はじめに、小学校児童の質問紙調査から、江別市の児童は総じて運動に対する意欲や意識が全国平均をやや上回っており、10ページ上段のグラフのとおり、体育の授業以外でも積極的に運動している様子がうかがえます。

また、11ページ上段のグラフからは、体育の授業においてICTが有効に活用されている様子を窺うことができます。このことは、教員による授業改善の成果が表れているのではないかと、考えております。

次に、12ページからの中学校生徒に関しては、運動に対する意欲や意識が全国平均をやや下回る傾向にあります。小学校同様、13ページのグラフで授業以外での運動時間が多いことや、14ページのグラフで、授業でのICTの有効活用が図られていることが分かります。

次に、15ページをご覧ください。

15ページから17ページは、学校質問紙調査の結果であり、小中学校、それぞれの結果概要と小中学校別のグラフを記載しております。

小中学校とも、体力・運動能力向上の目標設定、調査結果を踏まえた取組に関しては高い割合となっておりますが、引き続き学校全体の取組となるよう、環境整備を進めて行かなければならないと考えております。

また、17ページに記載しております家庭との連携・啓発に関しましては、体力向上のためには食育とともに生活習慣の改善も大切でありますことから、学校から家庭への情報発信を継続していくことが大切であると考えております。

最後に、最終ページをご覧ください。

こちらは、この調査をもとに、江別市「体力改善支援プラン」として、まとめたものです。

はじめに、上段、調査の結果、明らかになった課題につきましては、今ほどご説明申し上げたとおりであります。左側下段の課題解決に向けた学校の取組といたしましては、

	小中一貫を意識した「体力改善プラン」の作成と実施、体育科の授業改善などが考えられます。 一方右側は、学校に対する教育委員会の支援であり、教職員の指導力向上に向けた支援のほか、北翔大学と連携した「体力向上プログラム」や「走り方教室」の実施などの人的・物的支援を進め、児童生徒の体力向上を図っていきたいと考えております。 なお、この調査結果及び体力改善支援プランについては、各学校に情報提供を行い、今後の体力向上の取組に役立てていきたいと考えております。 説明は以上です。
黒川教育長	ただいま報告のありました、令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。
須田委員	毎年この体力調査で、江別子どもたちは特に走るのが弱いのではないかと考えていて、今年もやっぱり50m走とかが全国平均を下回っていて、毎年だと思っているところです。これに対して、いろいろな学校で、いろいろな対策を行っていると思いますが、その成果が出ている学校はあるのでしょうか。
稲田学校教育課長	走力に関して引き続き課題があるということについてですが、市教委としても走り方教室を小学校全校で実施し、ここに力を入れてはおりますが、なかなかタイムには出て来ないという状況で、このことについて問題意識を持っております。 一部向上している学校に関しては、対象が変わりますので、対象児童生徒の状況が年度ごとで変わるということもあると思いますが、一例として、小中学校合同で、小中一貫で体力テストを実施したところ、小学校の児童も、中学校の生徒も、非常に張り切って数値が良くなったという事例も聞こえてきておりますので、今後も小中一貫でモチベーションを高めながらやっていくということは必要なかと思っております。 走力に関しては、走り方教室を含めた授業の他に、日常的に走るような機会を増やして継続していかないと、なかなか長期的な目見ての解決にはならないのかなと考えております。以上です。
黒川教育長	その他ございませんか。
須田委員	前に、体育科専門の先生がいたような気がしたのですが、今でも小学校で体育科専門の先生を置いている学校はあるのでしょうか。
稲田学校教育課長	今年度からになります、体育エキスパート教員というのが、北海道教育委員会の制度でございまして、体育の指導に専門性を持つ教員に、江別市で1校だけになるのですが、巡回指導という形で入っていただいて、非常に専門的な指導をしていただいているという状況でございます。以上です。
黒川教育長	その他質問はございますか。
麓委員	毎年この結果を見せていただいて、いつも握力が平均を上回っていてすごいなって思っているのですが、何か特別に学校で取り組んでいることがあっての結果なののでしょうか。それとも、雪国だからとかでしょうか。
稲田学校教育課長	握力に関しましては、なぜこんなに良いのか分析はできておりません。 ただ、例えば、5ページの小学校男子の真ん中の「実技調査得点」の一番左側に握力がありまして、棒グラフの左側が北海道52.0、右側が江別市53.8ですけれども、北海道が52.0で全国平均を2.0ポイント上回っておりますので、雪国としての何かがここに表れているのかもしれませんが。以上です。
黒川教育長	その他いかがですか。
新館委員	須田委員が言っていたのと少しかぶる部分があるのかもしれませんが、昨年度もこの50m走に関しては、全国レベルを下回っているということだったと思うのですが、シャトルランとかマラソンとかはそこそこの数値が出ているという中で、それが脚力だけの問題なのかなと思いました。よく幼稚園ですとか、小学校でも一部あったのかもしれないのですが、徒競走でゴールを一緒にする、全員でゴールに入るみたいな、そういうこともあったと聞くのですが、子どもたちの中で、そういう意識とか、徒競走に関しては、みんなでゴールに入ったよな、そういう意識づけを経験しているということはないのでしょうか。要するに、競争するということに対しての意識づけが違うのかなと思ったのですが、そういうことはないのでしょうか。
稲田学校教育課長	徒競走の時に手をつないでみんなで一緒にゴールするという話は、以前そういう状況があったように聞いておりますが、今はそういったことは行われていないと聞いております。

黒川教育長	競争意識という部分に関して、ある学校に話を聞いた際に、その学校の児童は非常に優しい子が多くて、なかなか競ったりだとかそういった気持ちにならない、それが良い方向に向かうこともあるけれども、途中であきらめてしまったりといった傾向もあるのかなとおっしゃっていました。以上です。 若干補足ですが、私は、江別市内の小中学校で、手をつないで一緒にゴールということをやった学校を一度も聞いたことはありません。 それでは、その他になれば、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(2)令和6年度江別市青少年文化賞等の表彰についての報告を求めます。
田中生涯学習課長	田中生涯学習課長をお願いします。 報告事項(2)令和6年度江別市青少年文化賞等の表彰についてご報告いたします。 この賞は、芸術・文化の分野において優秀な成績を収め、市の芸術・文化の振興に貢献した青少年に対し、成績に応じた賞を贈るものです。 資料4ページの青少年文化賞・スポーツ賞等候補者選考項目基準をご覧ください。 文化賞の受賞者は、全国規模のコンクール等で3位以内に相当する成績を収めた者を、庁議の意見を聴き、市長が決定しております。 また、文化奨励賞受賞者は、全道規模のコンクール等で優勝、又はそれに相当する成績を収めた者を、市長が決定しております。さらに、教育委員会賞受賞者は、全道規模のコンクール等で2位、3位の成績を収めた者を、教育長が決定しております。 留意事項としましては、文化賞では、原則として予選、選抜、選考を経て全国大会への出場権を獲得し、優秀な成績を収めた者とするなどの基準を設けております。 昨年の11月下旬から本年1月6日までの推薦受付期間を設け、広報えべつや市ホームページでの周知のほか、小中学校、高等学校、大学及び各種団体に推薦を依頼し、推薦された候補者の事績内容等を確認しました。 年齢等の要件は、文化賞・文化奨励賞につきましては、小学生以上24歳まで、教育委員会賞の文化部門につきましては、小・中・高校生及びこれらに相当する年齢までとしております。 今年度の表彰に関する事績の対象期間は、原則として令和6年1月1日から12月31日の1年間としております。 今年度の受賞者につきましては、資料1ページに文化賞の1個人と文化奨励賞の8個人及び3団体を、資料2ページに教育委員会賞文化部門の5個人及び2団体を掲載しております。各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等につきましては、記載のとおりでありますので、ご参照いただきたいと思います。 また、参考資料としまして、年度別の受賞者数統計を3頁に添付しておりますので、併せてご参照ください。 以上です。
黒川教育長	ただいま報告のありました、令和6年度江別市青少年文化賞等の表彰について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(3)令和6年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰についての報告を求めます。
松井スポーツ課長	松井スポーツ課長をお願いします。 報告事項(3)令和6年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰についてご報告いたします。 事績の対象期間、推薦受付期間、各賞の基準や決定方法は、文化賞等と同様であります。年齢等の要件が文化賞等とは違い、スポーツ賞、スポーツ奨励賞は小学生以上、大学生などを除く19歳未満、教育委員会賞のスポーツ部門は小学生・中学生としております。 今回の受賞者につきましては、1ページにスポーツ賞の2個人を、2ページから4ページにかけてスポーツ奨励賞の20個人14団体を、5ページから6ページにかけて教育委員会賞スポーツ部門の11個人7団体を掲載しております。 各賞及びそれぞれの受賞者の氏名、事績等につきましては、記載のとおりであります。

黒川教育長	で、ご参照いただきたいと存じます。 また、参考資料としまして、年度別の受賞者数統計を7ページに、候補者の選考基準を8ページに、それぞれ添付しておりますので、併せてご参照ください。 なお、文化賞及びスポーツ賞等の贈呈式は、2月22日土曜日に、えぽあホールでの開催を予定しております。以上です。 ただいま報告のありました、令和6年度江別市青少年スポーツ賞等の表彰について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし)
松井スポーツ課長	私はわかっているのですが、1ページにありますスポーツ賞の受賞者の1番、岡部凜太郎さんは、下川商業高等学校ということで、どうして対象者となるのかご説明いただけますか。 スポーツ賞の岡部凜太郎さんにつきましては、去年の1月に、全国中学校体育大会のスペシャルジャンプで第3位の成績を収めており、江別市内の中学校在籍中ということで、江別市のスポーツ賞の対象となっております。
黒川教育長	それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
松井スポーツ課長	次に、報告事項(4)令和7年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画についての報告を求めます。 松井スポーツ課長お願いします。 報告事項(4)令和7年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について、ご報告いたします。
	資料の「事業計画書」をご覧ください。 令和7年度の事業計画につきましては、財団の理事会並びに評議員会の議決を経て、市に提出されたものであります。 事業計画書の1ページをお開きください。 初めに、「1. 総括」についてであります。令和7年度の事業計画は、「市民皆スポーツ^{かい}」をさらに推進するため、各種スポーツ教室及びスポーツ大会等を開催するとともに、市民体育館をはじめとする屋内体育施設や都市公園施設等の指定管理者として、市民サービスの向上に向けた管理運営を行うものであります。 次に、「2. スポーツ教室等開催事業」から4ページの「7. 自主事業」までは、令和7年度に予定している事業内容を記載しております。事業運営に当たりましては、これまでどおり、利用者の利便性に配慮した弾力性のある運営とサービスの提供を図りながら、施設の利用を促進するとともに、利用者に満足していただけるよう努めていくこととしております。 次に、5ページ及び6ページをお開き願います。 令和7年度収支予定表の1 予定収支予算書につきましては、まず、5ページの収入の部がありますが、主なものとして指定管理事業などの事業収入が、3億1,064万8千円を予定しております。 また、3の補助金収入は、江別市からの補助金として4,174万2千円を予定し、これに基本財産運用収入と雑収入を加えた当期収入合計額は、3億5,542万8千円を予定しているものであります。 次に、6ページに移りまして、支出の部であります。1の補助事業費は、スポーツ大会開催等に係る経費として、4,370万6千円を、2の受託事業費は、屋外体育施設等の管理業務受託事業費として1,684万7千円を、3の指定管理運営費は、指定管理施設の管理運営費として2億9,248万円を、その他、自主事業費と予備費を加えた当期支出合計額は、3億5,542万8千円となるものであります。 なお、7ページに予定正味財産増減計算書を、8ページに予定貸借対照表を、それぞれ記載しておりますので、ご参照ください。以上です。
黒川教育長	ただいま報告のありました、令和7年度一般財団法人江別市スポーツ振興財団の事業計画について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)

山崎総務課長	次に、報告事項（５）令和６年度江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。 山崎総務課長お願いします。 報告事項（５）令和６年度江別市一般会計補正予算の査定について、ご報告いたします。資料をご覧ください。 前回の定例教育委員会におきまして、第１回市議会定例会に提出を予定している一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の内容でご説明いたしました。が、過日、査定結果の通知を受けました。 ７款１項 商工費、「コミュニティセンター管理運営事業」以下、査定の結果はお手元に配付している資料のとおりであり、教育部補正額の合計は、２１億９６５万４千円の増額となるものであります。 今後は、２月２０日から開催される第１回市議会定例会で審議の上、承認されることにより、補正予算として確定いたします。 以上です。
黒川教育長	ただいま報告のありました、令和６年度江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。 （質疑なし） それでは、本報告について終了してよろしいですか。 （一同了承） 続いて、２の審議事項に入ります。 審議事項（１）令和７年議案第３号 江別市いじめ防止対策審議会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。
水口教育支援課長	水口教育支援課長お願いします。 私から、審議事項（１）令和７年議案第３号 江別市いじめ防止対策審議会委員の補欠委員の委嘱についてご説明申し上げます。 江別市いじめ防止対策審議会は、江別市いじめ防止対策審議会条例に基づき設置するものであり、地域におけるいじめの防止等のための対策に関するもののほか、いじめの重大事態に係る事実関係の調査に関する事項について、教育委員会の諮問に応ずる機関であります。 現在の委員の任期は、令和６年１２月１日から令和８年１１月３０日までの２年間ですが、本年４月１日から欠員が生じることとなるため、補欠委員の選考手続きを進め、１の補欠委員候補者に記載のとおり、札幌人権擁護委員協議会から推薦を受けた、岩田 博明氏を新たに委嘱しようとするものであります。 ２の補欠委員の任期は、令和７年４月１日から、前任者の残任期間である令和８年３月３１日までであります。 ３の委員名簿であります。新委員を含めた委員の名簿を、裏面の２ページに記載しておりますのでご参照願います。
黒川教育長	以上、ご説明申し上げましたので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 （質疑なし） それでは、令和７年議案第３号 江別市いじめ防止対策審議会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 （一同了承） それでは、そのように承認いたします。 次に、３のその他に入ります。 次回教育委員会予定案件及び日程について、説明を求めます。
山崎総務課長	山崎総務課長お願いします。 今回の定例教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和７年第１回江別市議会定例会の一般質問について、江別市立学校における働き方改革推進計画（第３期）の策定について、審議事項として、江別市文化財保護委員会委員の補欠委員の委嘱についてなどを予定しております。 また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、３月２８日金曜日午後２時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。

黒川教育長	ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は、３月２８日金曜日午後２時からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第２回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)
-------	---

終了 午後３時１２分

署名人（教育長） 黒 川 淳 司

署 名 人 麓 美 絵